CASBEE静岡

2016年版

□ 欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	(株)ニッピ　富士工場　CQT1プロジェクト	BEE	0.9	BEEランク	B−	★★

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点		取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.2	/5		ふつう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.2	/5		ふつう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.0	/5		ふつう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.0	/5		がんばろう

※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0＝1点、スコア5.0＝5点)

評価　凡例	よい	ふつう	がんばろう
	4 点以上	3 点以上	3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

		内訳対応項目					
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点					3.2
	■室内環境対策　(①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) 建物には耐久性の高い材料(外壁材・配管他)を採用し、食品工場として埃だまりが少なく清掃し易い仕様とした。又、建物内は禁煙とし、作業環境に応じた照度及び室内環境を実現する。	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能
		Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
				3.2	3.2.1	③	昼光制御
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数
					2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔
					2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔
					2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔
					2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔
					2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔
	■室外環境(敷地内)対策　(⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策　(⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) 高効率機器(空調・照明他)・井水利用を採用し、稼働後のエネルギー使用状況が把握できるよう計測計量機器を設置する	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制
			2			⑧	自然エネルギー利用
			3			⑨	設備システムの高効率化
			4	4.1		⑩	モニタリング
				4.2		⑩	運用管理体制
	■資源・マテリアル対策　(⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) 井水利用・耐久性の高い材料(配管他)・再生可能材料(OAフロアーを採用した	LR-2	1	1.1		⑪	節水
				1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無
					1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無
			2	2.1	2.1.1	⑫	材料使用量の削減
					2.1.2	⑫	既存建築躯体等の継続使用
					2.1.3	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用
					2.1.4	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
					2.1.5	⑫	持続可能な森林から産出された木材
					2.1.6	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み
			3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用
				3.2	3.2.1	⑬	消火剤
					3.2.2	⑬	断熱材
					3.2.3	⑬	冷媒
	■敷地外環境対策　(⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 高効率機器を採用した	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮
			2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点					3.2
	■サービス性能対策　(⑯耐震・免震/⑰信頼性) 耐震性を考慮した施工とした	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性
					2.1.2	⑯	免震・制振性能
				2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備
					2.4.2	⑰	給排水・衛生設備
					2.4.3	⑰	電気設備
					2.4.4	⑰	機械・配管支持方法
					2.4.5	⑰	通信・情報設備
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点					3.0
	■サービス性能対策　(⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
			3	3.1	3.1.1	⑳	階高のゆとり
					3.1.2	⑳	空間の形状・自由さ
	■室外環境(敷地内)対策　(㉑地域性・アメニティへの配慮) 看板照明は中止とし、工場内の光が漏れないよう、出来るだけ窓等を少なくした	Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点					2.0
	■室外環境(敷地内)対策　(⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) 今回計画外であるが、既設工場にて対応済みである	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
			2			㉒	まちなみ景観への配慮
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策　(⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3	2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善